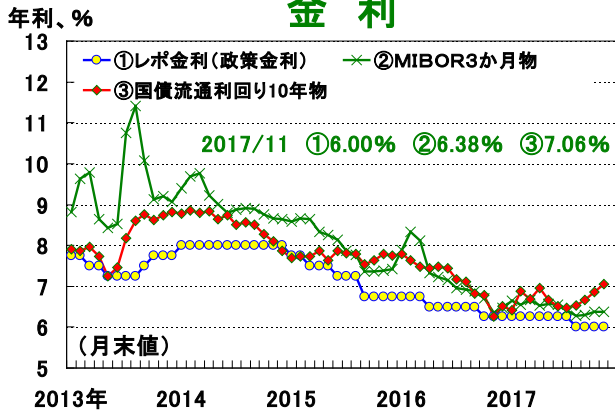


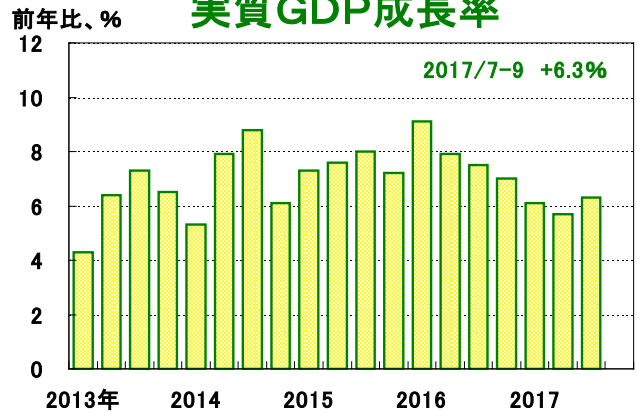
グラフで見るインド経済 2017年12月号(No. 96)

2017年7~9月期の実質GDP(国内総生産)は前年比+6.3%(前期は同+5.7%)と、成長率が6四半期ぶりに高まった。個人消費が減速したものの、総固定資本形成が復調したことに加え、在庫投資が大幅に増加したことも成長率を押し上げた。一方、直近の月次指標をみると、9月の鉱工業生産指数は前年比+3.8%(前月は同+4.5%)と減速し、10月の輸出も同-1.1%(前月は同+25.7%)と2016年8月以来のマイナスとなった。また家計部門をみると、10月の新車販売台数は前年比-0.3%(前月は同+11.3%)と減少に転じた。

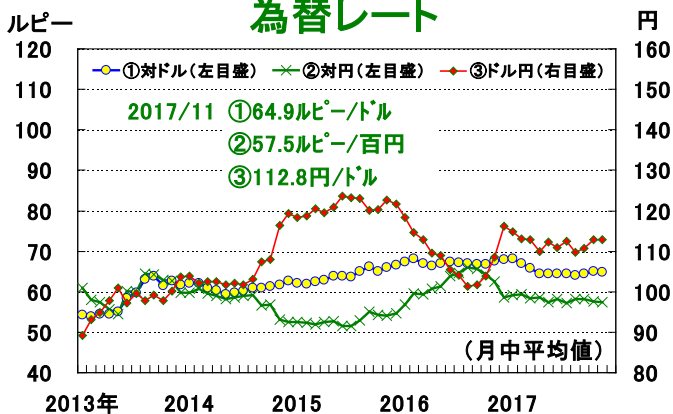
金利



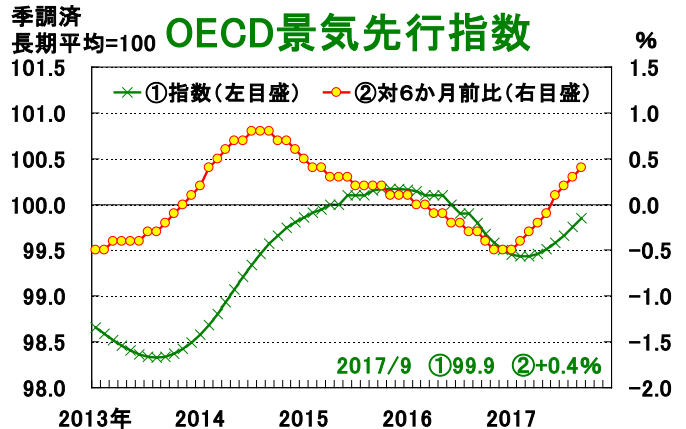
実質GDP成長率



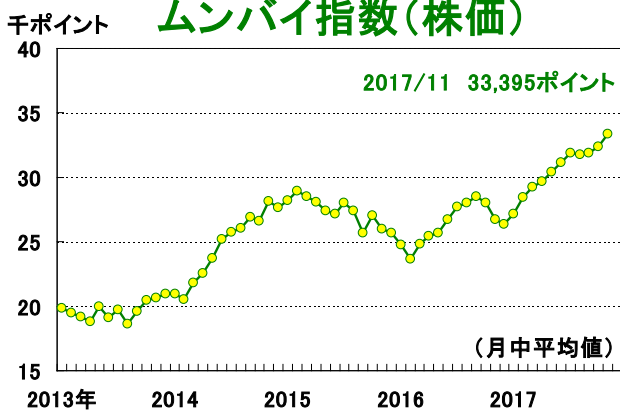
為替レート



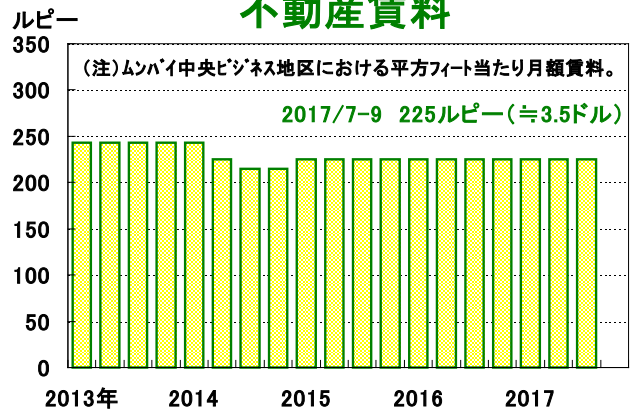
OECD景気先行指数



ムンバイ指数(株価)



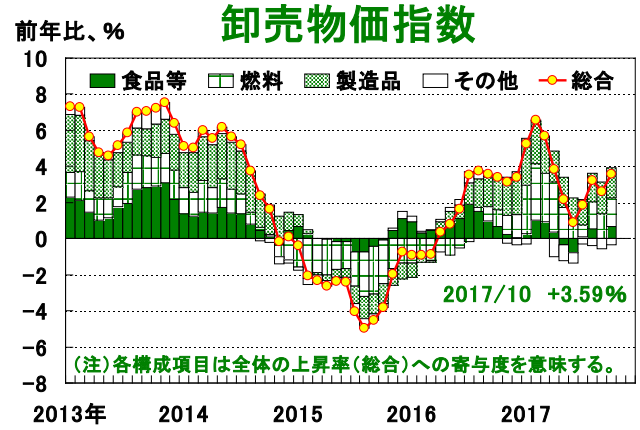
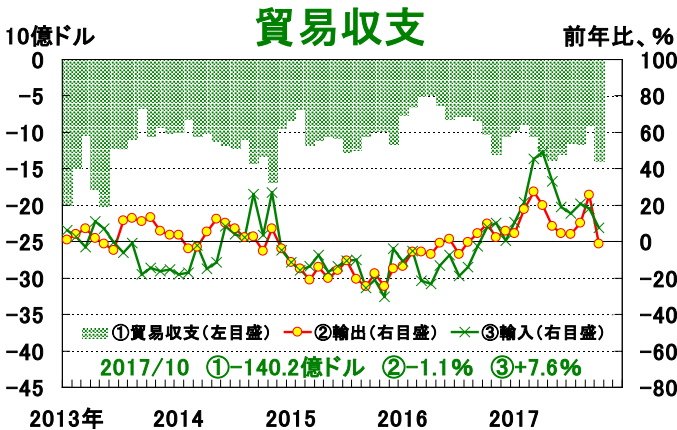
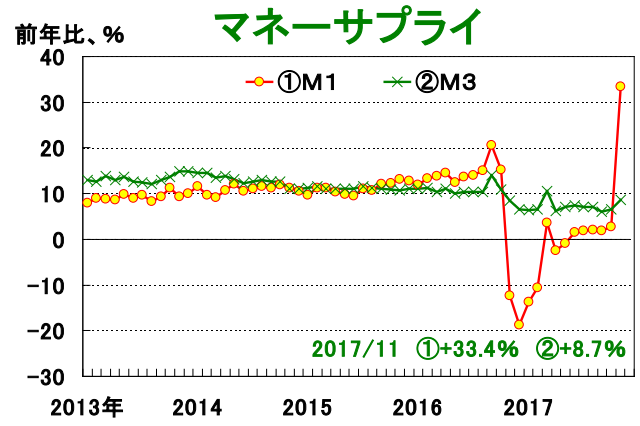
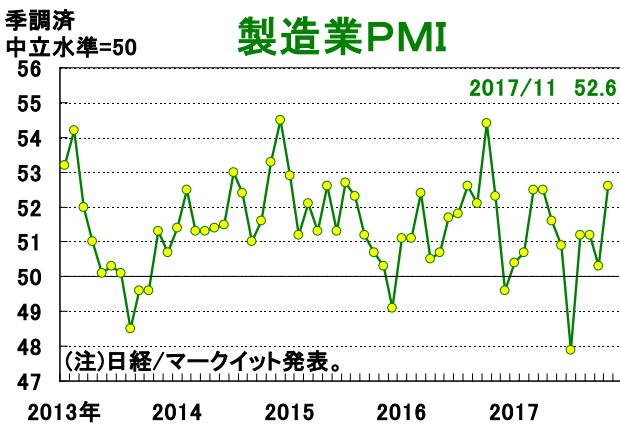
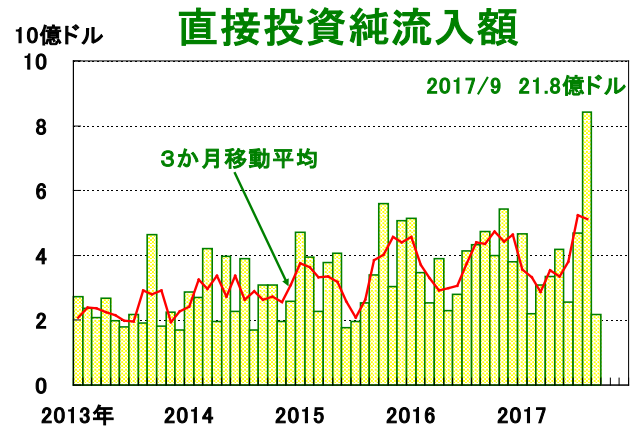
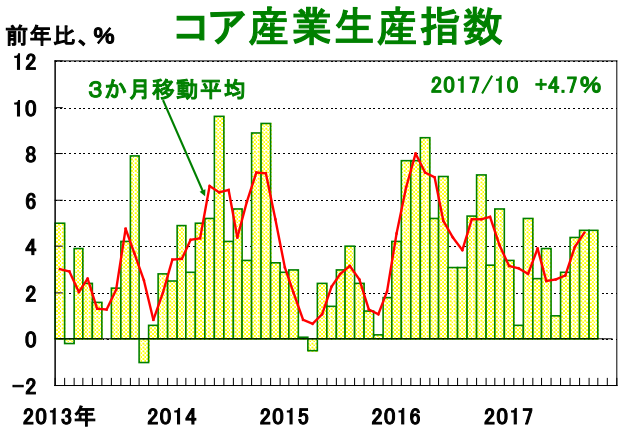
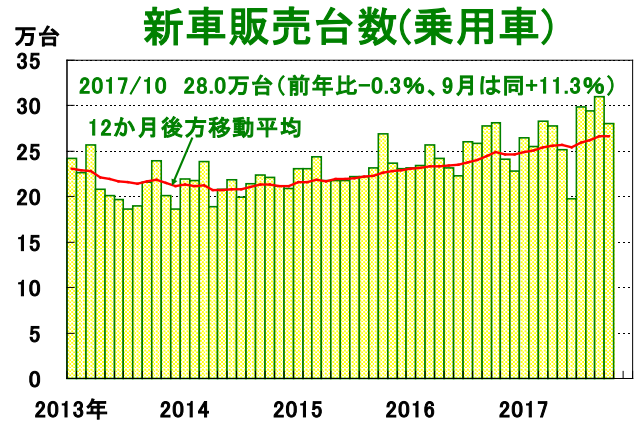
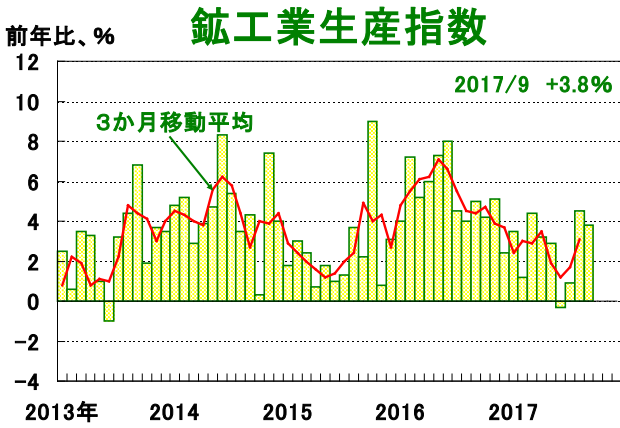
不動産賃料



【今月のトピック:ムーディーズがインドを格上げ】11月17日に、ムーディーズ・インベスターズ・サービスはインドの格付けを引き上げた。投資適格の格付けの最低ランクであるBaa3からBaa2へ格上げされた結果、インドはイタリアと同格となった。高額紙幣廃止や物品サービス税の導入など、モディ政権の思い切った政策運営により経済構造改革が進展していることが評価され、格上げにつながった。ただし、インドの財政事情は厳しい状況が続いており、今後、政府による農民債務の免除の政策によって悪化する可能性があることから、ムーディーズの判断を疑問視する意見もみられる。

(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。